

哺乳類

科	属	特定外来生物	未侵入	未定着	定着	侵入・定着状況
クスクス科 Phalangeridae	フクロギツネ属 <i>Trichosurus</i>	フクロギツネ <i>T. vulpecula</i>	●			展示動物やペットとして許可を得た個体が飼育されているが、野外への侵入記録はない。
ハリネズミ科 Erinaceidae	ハリネズミ属 <i>Erinaceus</i>	ハリネズミ属の全種			●	アムールハリネズミ <i>E. amurensis</i> が、静岡県伊東市、神奈川県小田原市に定着している。岩手県、長野県、富山県、栃木県での捕獲例もある。
オナガザル科 Cercopithecidae	マカカ属 <i>Macaca</i>	タイワンザル <i>M. cyclopis</i>			● (一部の地域では根絶)	動物園の飼育個体の逃亡や遺棄により、伊豆大島などに定着している。かつては、青森県下北半島や和歌山県に分布していたが、捕獲により根絶した。
		カニクイザル <i>M. fascicularis</i>		●		実験動物や飼育動物が逃げ出した例はあるが、定着はしていない。
		アカゲザル <i>M. mulatta</i>			●	千葉県房総半島南部に定着している。
		タイワンザル × ニホンザル <i>M. cyclopis</i> × <i>M. fuscata</i>			根絶	下北半島と紀伊半島(和歌山県北部)に定着していたが、下北半島のタイワンザルとその交雑個体は2004年に、紀伊半島のタイワンザルとその交雑個体のは2017年に根絶が発表された。
		アカゲザル × ニホンザル <i>M. mulatta</i> × <i>M. fuscata</i>			●	房総半島で交雑が生じ、かなりの世代を重ねていると考えられている。交雑個体の数や分布範囲は、和歌山県北部のタイワンザルとニホンザルの交雑の事例以上となっている。
ヌートリア科 Myocastoridae	ヌートリア属 <i>Myocastor</i>	ヌートリア <i>M. coypus</i>			●	東海から西日本を中心に生息している。
リス科 Sciuridae	ハイガシラリス属 <i>Callosciurus</i>	クリハラリス(タイワンリス) <i>C. erythraeus</i>			●	伊豆大島、神奈川県、静岡県、岐阜県、大阪府、和歌山県、長崎県、大分県、熊本県などに定着している。
		フィンレイソリス <i>C. finlaysonii</i>			●	静岡県浜松市周辺に定着したクリハラリス個体群に本種との交雑個体が混ざっていることが確認されている。
	プテロミリス属 <i>Pteromys</i>	タイリクモモンガ <i>P. volans</i> ただし、次のものを除く。 ・エゾモモンガ <i>P. volans orii</i>	●			ペットとして飼育されていたが、野外への侵入記録は無い。
	リス属 <i>Sciurus</i>	トウブハイロリス <i>S. carolinensis</i>	●			動物園などで許可を得た個体が飼育されているが、野外への侵入記録は無い。
		キタリス <i>S. vulgaris</i> ただし、次のものを除く。 ・エゾリス <i>S. vulgaris orientis</i>			●	埼玉県の狭山丘陵ではペットに由来すると考えられる個体が定着している。
ネズミ科 Muridae	マスカラット属 <i>Ondratra</i>	マスカラット <i>O. zibethicus</i>			●	東京都葛飾区水元公園、千葉県市川市行徳鳥獣保護区、埼玉県東部に生息している。
アライグマ科 Procyonidae	アライグマ属 <i>Procyon</i>	カニクイアライグマ <i>P. cancrivorus</i>	●			アライグマに混入してペットとして持ち込まれた可能性はあるが、野外への侵入記録は無い。
		アライグマ <i>P. lotor</i>			●	全都道府県で発見記録がある。沖縄などごく一部の都道府県以外では、個体群の定着が確認されている。
イタチ科 Mustelidae	イタチ属 <i>Mustela</i>	アメリカミンク <i>M. vison</i>			●	北海道に定着している。長野県、宮城県、群馬県、福島県などでも生息が確認されている。
マンゲース科 Herpestidae	エジプトマンゲース属 <i>Herpestes</i>	フィリマンゲース <i>H. auropunctatus</i>			●	沖縄島、奄美大島に定着している。鹿児島県の本土でもまれに生息が確認されている。
		ジャワマンゲース <i>H. javanicus</i>	●			日本への侵入は確認されていない。
	シママンゲース属 <i>Mungos</i>	シママンゲース <i>M. mungo</i>	●			動物園などで飼育されているが、野外への逸出記録は無い。

シカ科 Cervidae	アキシシジカ属 <i>Axis</i>	アキシシジカ属の全種	●			動物園などで飼育されているが、野外への逸出記録は無い。
	シカ属 <i>Cervus</i>	シカ属の全種 ただし、次のものを除く。 ・ホンシュウジカ <i>C. nippon centralis</i> ・ケラマジカ <i>C. nippon keramae</i> ・マゲシカ <i>C. nippon mageshimae</i> ・キウシュウジカ <i>C. nippon nippon</i> ・ツシマジカ <i>C. nippon pulchellus</i> ・ヤクシカ <i>C. nippon yakushimae</i> ・エゾシカ <i>C. nippon vesoensis</i>			●	和歌山市の友ヶ島ではタイワンジカもしくはアカシカやサンバーの交雑個体が野生化した報告がある。在来ニホンジカとのタイワンジカとの交雑個体が友ヶ島から近い本州部の大阪府泉南郡岬町でも確認されている。
	ダマシカ属 <i>Dama</i>	ダマシカ属の全種	●			動物園などで飼育されているが、野外への逸出記録は無い。
	シフゾウ属 <i>Elaphurus</i>	シフゾウ <i>E. davidianus</i>	●			動物園などで飼育されているが、野外への逸出記録は無い。
	ホエジカ属 <i>Muntiacus</i>	キョン <i>M. reevesi</i>			●	千葉県房総半島や伊豆大島に定着している。

鳥類

科	属	特定外来生物	未侵入	未定着	定着	侵入・定着状況
カモ科 Anatidae	ブランタ属 <i>Branta</i>	カナダガン <i>B. canadensis</i>			●	根絶 かつて、静岡県富士宮市、神奈川県相模原市、田貫湖、河口湖、山中湖、丹沢湖、茨城県牛久沼、長野県軽井沢町、徳島県徳島市などに定着していたが、2015年12月に全個体の駆除が完了した。
ヒヨドリ科 Pycnonotidae	シロガシラ属 <i>Pycnonotus</i>	シリアカヒヨドリ <i>P. cafer</i>		●		神奈川県で観察例があるが、定着記録は無い。
チメドリ科 Timaliidae	ガビチョウ属 <i>Garrulax</i>	ガビチョウ <i>G. canorus</i>			●	宮城県、福島県、関東地方(千葉県を除く)、大阪府、兵庫県、鳥取県、島根県、山口県、高知県、九州地方(鹿児島県を除く)、で確認されている。
		ヒゲガビチョウ <i>G. cineraceus</i>			●	愛媛県、高知県で確認されている。2005年に愛媛県で巢立ち雛が確認され、野外個体群が定着し始めていと考えられる。
		カオグロガビチョウ <i>G. perspicillatus</i>			●	東京都と神奈川県では繁殖が確認されたほか、埼玉県、群馬県、岩手県でも確認されている。
		カオジロガビチョウ <i>G. sannio</i>			●	赤城山(群馬県)で多数が繁殖している。最近では、栃木県、茨城県、千葉県の平野部でも確認されるようになった。
	ソウシチョウ属 <i>Leiothrix</i>	ソウシチョウ <i>L. lutea</i>			●	九州、四国、近畿、中部、東海、関東など23都府県で定着している。

爬虫類

科	属	特定外来生物	未侵入	未定着	定着	侵入・定着状況
カミツキガメ科 Chelydridae	カミツキガメ属 <i>Chelydra</i>	カミツキガメ <i>C. serpentina</i>			●	千葉県印旛沼とその周辺水系で定着している。東京都練馬区の光が丘公園など都内のいくつかの池でも定着の可能性が高い。静岡県、神奈川県、大阪府などでも野外繁殖に由来するとみられる幼体が見つかっている。
イシガメ科 Geoemydidae	イシガメ属 <i>Mauremys</i>	ハナガメ(タイワンハナガメ) <i>M. sinensis</i>		●		遺棄された個体が野外でしばしば見つかっているが、定着は確認されていない。
		ハナガメ × ニホンイシガメ <i>M. sinensis</i> × <i>M. japonica</i>		●		名古屋市内のため池で採集された事例がある。この個体が国内の野外で交配によって生じたのか、飼育下で作出されて遺棄されたものかは不明。
		ハナガメ × ミナミイシガメ <i>M. sinensis</i> × <i>M. mutica</i>	●			国内に存在する(した)という情報は得られていない。
		ハナガメ × クサガメ <i>M. sinensis</i> × <i>M. reevesii</i>		●		名古屋市内のため池で採集された事例がある。この個体が国内の野外で交配によって生じたのか、飼育下で作出されて遺棄されたものかは不明。
アガマ科 Agamidae	キノボリカゲ属 <i>Japalura</i>	スウィンホーキノボリカゲ <i>J. swinhonis</i>			●	静岡県磐田市、宮崎県日向市、神奈川県厚木市で定着が確認されている。日向市の一部では高密度になっている。

タテガミトカゲ(イグアナ)科 Iguanidae (Polychrotidae)	アノール属 <i>Anolis</i>	アリス・アルログス <i>A. allogus</i>	●			輸入の届出がなされたことがある。野外への侵入記録は無い。
		アリス・アルタケウス <i>A. alutaceus</i>	●			輸入の届出がなされたことがある。野外への侵入記録は無い。
		アリス・アングスティケプス <i>A. angusticeps</i>	●			輸入の届出がなされたことがある。野外への侵入記録は無い。
		グリーンアノール <i>A. carolinensis</i>			●	小笠原諸島の父島と母島のほぼ全域、兄島南部、沖縄島南部、座間味島の一部に定着している。
		ナイトアノール <i>A. equestris</i>	●			指定前にはペットとしての流通があった。指定後に輸入の届出がなされたことがある。野外への侵入記録は無い。
		ガーマンアノール <i>A. garmanni</i>	●			指定前にはペットとしての流通があった。指定後に輸入の届出がなされたことがある。野外への侵入記録は無い。
		アリス・ホモレキス <i>A. homolechis</i>	●			輸入の届出がなされたことがある。野外への侵入記録は無い。
		ブラウンアノール <i>A. sagrei</i>	●			指定前にはペットとしての流通はあったが、野外への侵入記録は無い。
ナミヘビ科 Colubridae	オオガシラ属 <i>Boiga</i>	ミドリオオガシラ <i>B. cyanea</i>			●	ペット用や展示用としてわずかに輸入されていた。貨物への混入に由来すると思われる個体が沖縄島で捕獲されたことがあるが、定着はしていない。
		イヌバオオガシラ <i>B. cynodon</i>	●			輸入の届出がなされたことがある。野外への侵入記録は無い。
		マングロープヘビ <i>B. dendrophila</i>	●			ペットや展示用として輸入されていた。輸入の届出がなされたことがある。野外への侵入記録は無い。
		ミナミオオガシラ <i>B. irregularis</i>	●			輸入の届出がなされたことがある。野外への侵入記録は無い。
		ボウソオオガシラ <i>B. nigriceps</i>	●			輸入の届出がなされたことがある。野外への侵入記録は無い。
	ナメラ属 <i>Elaphe</i>	タイワンスジオ <i>E. taeniura friesi</i>			●	沖縄島中部のうるま市、沖縄市、北中城村、北谷町、嘉手納町、読谷町、恩納村、金武町及び本部半島に定着しており、分布域を広げている。
クサリヘビ科 Viperidae	ハブ属 <i>Protobothrops</i>	タイワンハブ <i>P. mucrosquamatus</i>			●	沖縄県名護市を中心として、今帰仁村、本部町、恩納村でも捕獲されており、近年、分布域が急速に拡がりつつある。

両生類

科	属	特定外来生物	未侵入	未定着	定着	侵入・定着状況	
ヒキガエル科 Bufonidae	ヒキガエル属 <i>Bufo</i>	ブレーズヒキガエル <i>B. cognatus</i>	●			輸入の届出がなされたことがある。野外への侵入記録は無い。	
		キンイロヒキガエル <i>B. guttatus</i>	●			輸入の届出がなされたことがある。野外への侵入記録は無い。	
		オオヒキガエル <i>B. marinus</i>			●	(一部の地域では根絶)	小笠原諸島(父島、母島)、大東諸島(南大東島、北大東島)、八重山諸島(石垣島)に定着。西表島では繁殖は未確認であるが10例以上の確認記録がある。鳩間島にも定着していたが、15年程前に根絶を達成した。
		ヘリグロヒキガエル <i>B. melanostictus</i>	●				観葉植物などの輸入コンテナ内から生体がしばしば見つかるが、野外への侵入記録は無い。
		アカボシヒキガエル <i>B. punctatus</i>	●				輸入の届出がなされたことがある。野外への侵入記録は無い。
		オークヒキガエル <i>B. quercicus</i>	●				輸入の届出がなされたことがある。野外への侵入記録は無い。
		テキサスヒキガエル <i>B. speciosus</i>	●				輸入の届出がなされたことがある。野外への侵入記録は無い。
		コノハヒキガエル <i>B. typhonius</i>	●				輸入の届出がなされたことがある。野外への侵入記録は無い。
アマガエル科 Hylidae	ズツキガエル属 <i>Osteopilus</i>	キューバズツキガエル (キューバアマガエル) <i>O. septentrionalis</i>	●			かつてペットとして流通していたことがあるが、野外への侵入記録は無い。	
ユビナガガエル科 Leptodactylidae	コヤスガエル属 <i>Eleutherodactylus</i>	コキーコヤスガエル <i>E. coqui</i>	●			日本国内への侵入記録は無い。	
		ジョンストンコヤスガエル <i>E. johnstonei</i>	●			日本国内への侵入記録は無い。	
		オンシツガエル <i>E. planirostris</i>	●			日本国内への侵入記録は無い。	
ジムグリガエル科 Microhylidae	ジムグリガエル属 <i>Kaloula</i>	アジアジムグリガエル <i>K. pulchra</i>	●			特定外来生物に指定される前(2016年10月)までは、しばしばペットとして輸入されていたが、野外への侵入記録は無い。	
アカガエル科 Ranidae	アカガエル属 <i>Rana</i>	ウシガエル <i>R. catesbeiana</i>			●	北海道南部から沖縄県に広く定着している。	
アオガエル科 Rhacorhoridae	シロアゴガエル属 <i>Polypedates</i>	シロアゴガエル <i>P. leucomystax</i>			●	沖縄島、宮古島のほぼ全域とその周辺島嶼、石垣島に定着している。西表島でも定着が確認されたが、2019年までに根絶された。	

魚類

科	属	特定外来生物	未侵入	未定着	定着	侵入・定着状況
ガー科 Lepisosteidae	ガー科の全属 <i>Atractosteus</i> <i>Lepisosteus</i>	ガー科の全種 <i>Lepisosteidae</i> spp.		●		茨城県から鹿児島県までの15水系以上で生息が確認されている。野外での確実な繁殖例は知られていない。
		ガー科に属する種間の交雑により生じた生物	●			野外への侵入記録は無い。
コイ科 Cyprinidae	タナゴ属 <i>Acheilognathus</i>	オオタナゴ <i>A. macropterus</i>			●	霞ヶ浦全域とその周辺に定着し、利根川水系内で分布を拡大している。
ギギ科 Bagridae	ギバチ属 <i>Tachysurus</i>	コウライギギ <i>T. fulvidraco</i>			●	利根川水系の城沼、渡良瀬遊水地、手賀沼、印旛沼、菅生沼などで相次いで生息が確認され、一部で定着している。
イクタルス科 Ictaluridae	アメイウルス属 <i>Ameiurus</i>	ブラウンブルヘッド <i>A. nebulosus</i>	●			1963年以降、国内に数回持ち込まれたが、野外への侵入記録は無い。
	イクタルス属 <i>Ictalurus</i>	チャネルキャットフィッシュ <i>I. punctatus</i>			●	霞ヶ浦では優占種の1つとなっている。阿武隈川水系、那珂川水系、利根川水系、矢作川水系、宮川水系、淀川水系などに定着し、分布が拡大しつつある。島根県でも確認されている。
	ピロディクティス属 <i>Pylodictis</i>	フラットヘッドキャットフィッシュ <i>P. olivaris</i>				国内では観賞魚として稀に流通していたが、野外への侵入記録は無い。
ナマズ科 Siluridae	ナマズ属 <i>Silurus</i>	ヨーロッパナマズ (ヨーロッパオオナマズ) <i>S. glanis</i>		●		国内ではかつて観賞魚として利用され、2005年に滋賀県の公園の池で全長70cmのアルビノ個体の生息が確認されたことがある。
カワカマス(バイク)科 Esocidae	カワカマス(バイク)属 <i>Esox</i>	カワカマス科の全種 <i>Esocidae</i> spp.	●			ノーザンバイク、マスキーバイクなどかつて観賞魚として流通していたが、野外への侵入記録は無い。
		カワカマス科に属する種間の交雑により生じた生物	●			国内への侵入記録は無い。
カダヤシ科 Poeciliidae	カダヤシ属 <i>Gambusia</i>	カダヤシ <i>G. affinis</i>			●	ボウフラ退治のために放流されて、福島県から沖縄県の各地に定着している。
		ガンブスィア・ホルブロオキ <i>G. holbrooki</i>	●			国内では観賞魚として稀に流通していたが、野外への侵入記録は無い。
サンフィッシュ科 Centrarchidae	ブルーギル属 <i>Lepomis</i>	ブルーギル <i>L. macrochirus</i>			●	全都道府県に定着している。
	オオクチバス属 <i>Micropterus</i>	コクチバス <i>M. dolomieu</i>			●	北海道から九州で分布記録があり、東北から近畿地方に定着している。
		オオクチバス <i>M. salmoides</i>			●	2001年には全都道府県に定着した。その後、北海道では根絶された。
ハゼ科 Gobiidae	ネオゴビウス属 <i>Neogobius</i>	ラウンドゴビー <i>N. melanostomus</i>	●			野外への侵入記録は無い。
アカメ科 Centropomidae	アカメ属 <i>Lates</i>	ナイルパーチ <i>L. niloticus</i>	●			観賞魚として流通していたが、野外への導入記録はない。
モロネ科 (狭義) Moronidae	モロネ属 <i>Morone</i>	ホワイトパーチ <i>M. americana</i>	●			野外への侵入記録は無い。
		ホワイトバス <i>M. chrysops</i>	●			野外への侵入記録は無い。
		ストライプトバス <i>M. saxatilis</i>	●			日本へは1927~73年に数回持ち込まれたが、野外への侵入記録は無い。
		ホワイトバス × ストライプトバス <i>M. chrysops</i> × <i>M. saxatilis</i>		●		管理釣り場で利用されたことがあり、霞ヶ浦と東京湾での採集記録があるが、定着は確認されていない。
パーチ科 Percidae	ギムノケファルス属 <i>Gymnocephalus</i>	ラッフ <i>G. cernuus</i>	●			観賞魚として稀に流通していたが、野外への導入記録はない。
	ペルカ属 <i>Perca</i>	ヨーロッパアンパーチ <i>P. fluviatilis</i>	●			観賞魚として利用されていたが、野外への導入記録はない。
	サンデル属 <i>Sander</i> (<i>Stizostedion</i>)	バイクパーチ <i>S. lucioperca</i>	●			観賞魚として利用されていたが、野外への導入記録はない。
ケツギョ科 Siniperca	ケツギョ属 <i>Siniperca</i>	ケツギョ <i>S. chuatsi</i>	●			観賞魚として流通していたが、野外への導入記録はない。
		コウライケツギョ <i>S. scherzeri</i>	●			観賞魚として流通していたが、野外への導入記録はない。

昆虫類

科	属	特定外来生物	未侵入	未定着	定着	侵入・定着状況
タテハチョウ科 Nymphalidae	ゴマダラチョウ属 <i>Hestina</i>	アカボシゴマダラ <i>H. assimillis</i> ただし、次のものを除く。 ・アカボシゴマダラ奄美亜種 <i>H. assimillis shirakii</i>			●	1995年に埼玉県さいたま市、戸田市、朝霞市で数例が確認されていたが、1年限りで消滅した。1998年に神奈川県藤沢市で確認されて以来、分布を拡大し、現在南関東を中心に定着している。
カミキリムシ科 Cerambycidae	ジャコウカミキリ属 <i>Aromia</i>	クビアカツヤカミキリ <i>A. bungii</i>			●	愛知県、埼玉県、群馬県、東京都、大阪府、徳島県、栃木県、和歌山県、奈良県、三重県、茨城県で確認されている。
クワガタムシ科 Lucanidae	マルバネクワガタ属 <i>Neolucanus</i>	アングラートゥスマルバネクワガタ <i>N. angulatus</i>	●			野外への侵入は確認されていない。
		バラデバマルバネクワガタ <i>N. baladeva</i>	●			野外への侵入は確認されていない。
		ギガンテゥスマルバネクワガタ <i>N. giganteus</i>	●			野外への侵入は確認されていない。
		カツラマルバネクワガタ <i>N. katsuraorum</i>	●			野外への侵入は確認されていない。
		マエダマルバネクワガタ <i>N. maedai</i>	●			野外への侵入は確認されていない。
		マキシムスマルバネクワガタ <i>N. maximus</i>	●			野外への侵入は確認されていない。
		ペラルマトゥスマルバネクワガタ <i>N. perarmatus</i>	●			野外への侵入は確認されていない。
		サンダースマルバネクワガタ <i>N. saundersii</i>	●			野外への侵入は確認されていない。
		タナカマルバネクワガタ <i>N. tanakai</i>	●			野外への侵入は確認されていない。
		ウォーターハウスマルバネクワガタ <i>N. waterhousei</i>	●			野外への侵入は確認されていない。
コガネムシ科 Scarabaeidae	テナゴコガネ属 <i>Cheirotonus</i>	テナゴコガネ属の全種 ただし、次のものを除く。 ・ヤンバルテナゴコガネ <i>C. jambar</i>	●			全10種のうち、1990年代後半から販売業者・愛好家により、バリ-テナゴコガネ、ヤンソンテナゴコガネ、マレーテナゴコガネ、パターレルテナゴコガネなどが持ち込まれ販売・飼育されていたが、野外への侵入記録は無い。
	クモテナゴコガネ属 <i>Euchirus</i>	クモテナゴコガネ属の全種	●			1990年代後半から販売業者・愛好家により輸入され、販売・飼育されてきたが、野外への侵入記録は無い。
	ヒメテナゴコガネ属 <i>Propomacrus</i>	ヒメテナゴコガネ属の全種	●			1990年代後半から販売業者・愛好家により輸入され、販売・飼育されてきたが、野外への侵入記録は無い。
ミツバチ科 Apidae	マルハナバチ属 <i>Bombus</i>	セイヨウオオマルハナバチ <i>B. terrestris</i>			●	2018年までに28都道府県で目撃情報がある。北海道ではほぼ全域に定着し、大雪山、納沙布岬、利尻島でも成虫が確認されている。
アリ科 Formicidae	アルゼンチンアリ属 <i>Linepithema</i>	アルゼンチンアリ <i>L. humile</i>			●	2018年までに、東京都、神奈川県、静岡県、愛知県、岐阜県、京都府、大阪府、徳島県、兵庫県、岡山県、広島県、山口県で定着が確認されている。
	トフシアリ属 <i>Solenopsis</i>	アカカミアリ <i>S. geminata</i>			●	硫黄島で定着している。沖縄島、伊江島、南鳥島で記録がある。2017年以来、東京都、兵庫県等、全国の港湾で確認されている。
		ヒアリ <i>S. invicta</i>			●	2017年兵庫県での発見以来、愛知県、大阪府、東京都、神奈川県、福岡県、岡山県、埼玉県、広島県、静岡県、京都府、千葉県、北海道、三重県の14都道府県で計48の確認事例がある。
	ワスマニア属 <i>Wasmannia</i>	コカミアリ <i>W. auropunctata</i>	●			日本への侵入記録は無い。
スズメバチ科 Vespidae	ベスバ属 <i>Vespa</i>	ツマアカスズメバチ <i>V. velutina</i>			●	2012年に長崎県対馬で初めて確認され、福岡県、宮城県、香取(長崎県)、大分県でも侵入が確認されている。対馬では定着している。

<指定が検討されている種>

科	属	特定外来生物	未侵入	未定着	定着	侵入・定着状況
アリ科 Formicidae	トフシアリ属 <i>Solenopsis</i>	ヒアリ類(ヒアリ、アカカミアリを含む4種群23種及び各種間の交雑種)			●	アカカミアリは硫黄島で定着している。沖縄島、伊江島、南鳥島で記録がある。2017年以来、東京都、兵庫県等、各地の港湾で確認されている。
				●		ヒアリは2017年兵庫県での発見以来、愛知県、大阪府、東京都、神奈川県、福岡県、岡山県、埼玉県、広島県、静岡県、京都府、千葉県、北海道、三重県の14都道府県で計48の確認事例がある。
			●			アカカミアリ、ヒアリを除くヒアリ類(4種群23種及び各種間の交雑種)は国内への侵入記録は無い。
	トゲフシアリ属 <i>Lepisiota</i>	ハヤトゲフシアリ <i>Lepisiota frauenfeldii</i>			●	名古屋港、東京港、大阪港、博多港、志布志港で確認されている。

甲殻類

科	属	特定外来生物	未侵入	未定着	定着	侵入・定着状況
ザリガニ科 Astacidae	アスタクス属 <i>Astacus</i>	アスタクス属の全種	●			ベットとして流通していたが、野外への侵入記録はない。
	パキファスタクス属 <i>Pacifastacus</i>	ウチダザリガニ／タンカイザリガニ (シグナルクレイフィッシュ) <i>P. leniusculus</i>			●	北海道、福島、長野県、福井県、滋賀県に分布するほか、宮城県、新潟県、栃木県、千葉県でも確認されている。
アメリカザリガニ科 Cambaridae	オルコネクテス属 <i>Orconectes</i>	ラスティークレイフィッシュ <i>O. rusticus</i>	●			ベットとして利用されていたが、野外への侵入記録はない。
ミナミザリガニ科 Parastacidae	ケラクス属 <i>Cherax</i>	ケラクス属の全種	●			ベットとして流通していたが、野外への侵入記録はない。
モクズガニ科 Varunidae	モクズガニ属 <i>Eriocheir</i>	モクズガニ属の全種 ただし、次のものを除く。 ・モクズガニ <i>E. japonica</i>		●		2004年に東京湾で生きた成体の雌と死んだ成体の雌が捕獲されたが、国内での定着は確認されていない。

<指定が検討されている種>

科	属	指定候補種名	未侵入	未定着	定着	侵入・定着状況
アメリカザリガニ科 Cambaridae	アメリカザリガニ属 <i>Procambarus</i>	ミステリークレイフィッシュ <i>Procambarus virginialis</i>		●		北海道と愛媛県で個体が確認されているが、定着は確認されていない。
		スロウザリガニ <i>Procambarus fallax</i>	●			野外への侵入記録は無い。
ヨコエビ科 Gammaridae	ディケログマルス属 <i>Dikergammarus</i>	ディケログマルス・ヴィロースス <i>Dikergammarus villosus</i>	●			国内への侵入記録は無い。

クモ類

科	属	特定外来生物	未侵入	未定着	定着	侵入・定着状況
キョクトウサソリ科 Buthidae	キョクトウサソリ科の全属	キョクトウサソリ科の全種		●		一部の種がベットとして輸入されたり、食材として生きたまま輸入されていたこともあるが、野外への侵入記録は無い。
ジョウゴグモ科 Hexathelidae	アトラクス属 <i>Atrax</i>	アトラクス属の全種	●			日本への侵入記録は無い。
	ハドロニューケ属 <i>Hadronyche</i>	ハドロニューケ属の全種	●			日本への侵入記録は無い。
イトグモ科 Loxoscelidae	イトグモ属 <i>Loxosceles</i>	ロクスケレス・ガウコ <i>L. gaucho</i>	●			日本への侵入記録は無い。
		ロクスケレス・ラエタ <i>L. laeta</i>	●			日本への侵入記録は無い。
		ロクスケレス・レクルサ <i>L. reclusa</i>	●			日本への侵入記録は無い。
ヒメグモ科 Theridiidae	ゴケグモ属 <i>Latrodectus</i>	ゴケグモ属の全種 ただし、次のものを除く。 ・アカオビゴケグモ <i>L. elegans</i>			●	セアカゴケグモは、北海道から沖縄にかけて45都道府県で確認記録があり、西日本に定着している地域が多い。
					●	ハイロゴケグモは東京都、神奈川県、愛知県、京都府、大阪府、兵庫県、岡山県、山口県、福岡県、長崎県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県において、主に港湾周辺などで発見されている。
					●	クロゴケグモは滋賀県と山口県で記録がある。山口県では1997年に岩国地の米軍海兵隊基地内で発見されて以降、基地内からほぼ継続して確認され、2006年以降は基地外の周辺地域での確認例もある。
				●		ツヤクロゴケグモは、1996年に群馬県高崎市で1個体の確認事例がある。
			●			その他のゴケグモ属については、国内への侵入記録はない。

軟体動物

科	属	特定外来生物	未侵入	未定着	定着	侵入・定着状況
イガイ科 Mytilidae	カワヒバリガイ属 <i>Limnoperna</i>	カワヒバリガイ属の全種			●	木曾三川、琵琶湖と淀川水系、愛知県、静岡県、群馬県、茨城県などに定着している。
カワホトギス科 Dreissenidae	ドレイセナ属 <i>Dreissena</i>	クワツガガイ <i>D. bugensis</i>	●			日本への侵入記録は無い。
		カワホトギスガイ <i>D. polymorpha</i>	●			日本への侵入記録は無い。
スピラクスィダエ科 Spiraxidae	エウグランディナ属 <i>Euglandina</i>	ヤマヒタチオビ(オカヒタチオビ) <i>E. rosea</i>	●			1960年代にアフリカマイマイの駆除の目的で小笠原諸島に導入された。一時、父島の広域に定着したが、より強力な外来捕食者であるニューギニアヤリガタリクウズムシの影響により現在ではほとんど見られない。1958～61年に沖縄へ導入された記録もあるが、定着していない。

扁形動物

科	属	特定外来生物	未侵入	未定着	定着	侵入・定着状況
ヤリガタリクウズムシ科 Rhynchodemidae	プラテュデムス属 <i>Platydemus</i>	ニューギニアヤリガタリクウズムシ <i>P. manokwari</i>			●	小笠原諸島父島、硫黄島、琉球列島、奄美群島、大東諸島に定着している。

植物

科	属	特定外来生物	未侵入	未定着	定着	侵入・定着状況
ヒユ科 Amaranthaceae	ツルノゲイトウ属 <i>Alternanthera</i>	ナガエツルノゲイトウ <i>A. philoxeroides</i> (茎・根を含む)			●	本州(関東以西)～琉球に分布する。
セリ科 Apiaceae	チドメグサ属 <i>Hydrocotyle</i>	ブラジルチドメグサ <i>H. ranunculoides</i> (茎・根を含む)			●	九州の一部と岡山県に分布する。
サイモ科 Araceae	ポタンウキクサ属 <i>Pistia</i>	ポタンウキクサ <i>P. stratiotes</i> (茎・根を含む)			●	本州(関東以西)～琉球、小笠原諸島に分布する。
アカウキクサ科 Azollaceae	アカウキクサ属 <i>Azolla</i>	アゾラ・クリスタタ <i>A. cristata</i> (茎を含む)			●	外来アゾラ類(アゾラ・クリスタタ(アメリカオアアカウキクサ)、ニシノオアアカウキクサ、アイオアアカウキクサ)は、本州、四国、九州に分布する。埼玉県ではアゾラ・クリスタタが確認されているが、現在各地で広がっているものの大半は雑種のアイオアアカウキクサである。
キク科 Compositae	ハルシャギク属 <i>Coreopsis</i>	オオキンケイギク <i>C. lanceolata</i> (根を含む)			●	北海道～琉球、小笠原諸島に分布する。
	ミズヒマワリ属 <i>Gymnocoronis</i>	ミズヒマワリ <i>G. spilanthisoides</i> (茎・根を含む)			●	本州(関東以西)～四国、九州に分布する。
	ツルヒヨドリ属 <i>Mikania</i>	ツルヒヨドリ <i>M. micrantha</i> (根を含む)			●	沖縄本島中部一帯で繁茂し、西表島や鹿児島県の奄美大島にも侵入している。
	オオハンゴンソウ属 <i>Rudbeckia</i>	オオハンゴンソウ <i>R. laciniata</i> (根を含む)			●	北海道～琉球に分布する。
	キオン(サワギク)属 <i>Senecio</i>	ナルトサワギク <i>S. madagascariensis</i> (茎・根を含む)			●	本州(中部地方以西)、四国、九州に分布する。
ウリ科 Cucurbitaceae	アレチウリ属 <i>Sicyos</i>	アレチウリ <i>S. angulatus</i>			●	北海道～九州に分布する。
モウセンゴケ科 Droseraceae	モウセンゴケ属 <i>Drosera</i>	ナガエモウセンゴケ <i>D. intermedia</i> (茎・根を含む)			●	岡山県と千葉県で確認されている。
アリノトウグサ科 Haloragaceae	フサモ属 <i>Myriophyllum</i>	オオフサモ <i>M. aquaticum</i> (茎・根を含む)			●	北海道～琉球に分布する。
アカバナ科 Onagraceae	チョウジタデ属 <i>Ludwigia</i>	ルドウィギア・グランディフロラ(オオバナミズキンバイ等) <i>L. grandiflora</i> (茎・根を含む)			●	2007年に兵庫県、2012年に滋賀県琵琶湖で確認後、急速に広がった。和歌山県、鹿児島県にも生育する。
イネ科	オオハマガヤ属 <i>Ammophila</i>	ビーテグラス <i>A. arenaria</i> (根を含む)	●			日本での利用や定着の情報は無い。

ヒギタア Poaceae	スパルティナ属 <i>Spartina</i>	スパルティナ属の全種 (茎・根を含む)			●	ヒガタア <i>S. alterniflora</i> が愛知県で2008年、熊本県で2009年に確認された。愛知県では駆除により2017年に根絶されたが、2018年にコヒガタア <i>S. anglica</i> が確認された。
ゴマノハグサ科 Scrophulariaceae	クワガタソウ属 <i>Veronica</i>	オオカワヂンヤ <i>V. anagallis-aquatica</i> (根を含む)			●	本州、四国、九州に分布する。

<指定が検討されている種>

科	属	特定外来生物	未侵入	未定着	定着	侵入・定着状況
タヌキモ科 Lentibulariaceae	タヌキモ属 <i>Utricularia</i>	エフクレタヌキモ <i>Utricularia cf. platensis</i>			●	静岡県、大阪府、兵庫県に分布する。
		ウトリキュリア・インフラータ <i>Utricularia inflata</i>	●			日本での定着の情報は無い。
		ウトリキュリア・プラテンシス <i>Utricularia platensis</i>	●			日本での定着の情報は無い。

※未侵入・未定着・定着の区分は、以下の状況別に判断した。

未侵入	一度も日本国内に入ってきたことがない。
	かつて国内に存在していたことがあるが、今は屋内・野外ともに存在していない。
	飼養されている等で国内に存在しているが、野外には侵入していない(野外で発見された記録がない)。
未定着	国内の野外で発見されたことがあるが、定着は確認されていない。
定着	国内に定着している地域がある。